

## 根原県有地の 草原性植生保全活動体験等



富士宮市根原の根原県有地では、例年、維持管理業務委託を受注したNPO法人富士山自然の森づくりの会員による草刈と、草原性植生保全活動体験に参加したボランティアによる草刈を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により草原性植生保全活動体験は中止となりましたが、令和3年度は感染者数が落ち着いて11月6日(土)に開催し、20名を超えるボランティアの方に参加いただきました。

また、令和2年度からは、常葉大学社会学部の浅見准教授をはじめ大学の皆様が根原県有地を含む根原草原の



常葉大学の皆様の草刈の様子

調査研究を行ったことが縁となり、草刈作業を行っていただいています。

令和3年度は、11月13日(土)に常葉大学社会学部環境学部の教員4名と学生28名の総勢32名が「根原草原バスツアー」の中で根原県有地に立ち寄り、「富士山自然の森づくり」から借りた鎌で約2時間程、スキヤキクイモ等の刈り取り・除去を行っていただきました。

令和2年度の浅見ゼミ4年生が執筆した卒業論文『富士山麓における根原草原の伝統的な耕作が草原植生へ及ぼす影響』には、根原草地の利用形態や火入れの有無による植生の変遷や比較が記載されています。常葉大学の研究紀要にも掲載されるとのことなので、御紹介させていただきます。

今後、様々な方に御協力・アドバイスをいただきながら、草原に生息・生育する貴重な生物が失われないよう、管理してまいります。



草原性植生保全活動体験の様子

## NEWS × COLUMN

## 外来植物撲滅大作戦について

新型コロナウイルス感染症の影響により防除の適期よりも遅くなりましたが、令和3年11月14日(日)に富士宮市粟倉の西臼塚駐車場で「外来植物撲滅大作戦Ⅰ」を実施し、セイヨウタンポポやメマツヨイグサ等8種類の外来植物の駆除を行いました。

令和4年3月6日(日)には、外来植物撲滅大作戦Ⅱを実施しました。オンラインの勉強会形式で、環境省、静岡県からの情報提供や、除去活動等を行う株式会社環境アセスメントセンター、認定特定非営利活動法人



外来植物撲滅大作戦Ⅰで講師から説明を受ける参加者



富士山クラブの事例発表を行い、参加者には富士山周辺での外来植物の分布状況や対策について学んでいただきました。

富士山の各登山口五合目付近には既に外来植物の侵入が確認されており、更に上方に分布が拡大してしまう前に除去しなければなりません。亜高山帯から上に生育する植物には、そこでは生育できない希少種があります。

今後、五合目付近での除去活動も計画してまいりますので、その際は皆様にも御協力いただければ幸いです。



外来植物撲滅大作戦Ⅰ参加者集合写真